

夏合宿レポート

2022/8/25

■講評

コロナウィルス感染者が急増し、懸念されることが多々ある中での合宿でしたが、参加者・スタッフ全員が消毒や体調管理に留意して過ごし、大変有意義な1週間となりました。

集中力がついた、精神的に落ち着いてきた、日々の勉強内容が濃くなった、出題者の意図を的確に把握できるようになった等々、夏合宿参加を機に勉強への姿勢も生活態度も大きく変わったという報告を毎年受けています。今年の夏合宿も多くの生徒が自分のベストを尽くし、合宿前とは違った自分を見つけることができたのではないかと感じています。この勢いを合宿後も維持し、志望大学合格に近づいてほしいと願っています。

また、夏合宿では、いつもより長い時間生徒とコミュニケーションを取ることができたため、生徒の新たな一面が見出せました。その発見を今後の指導に生かしていきたいとスタッフ一同気持ちを新たにしています。



■参加生徒の声

○ 参加する前は1週間頑張れるかとても不安だったが、あっという間の1週間だった。毎日の復習テストで自分の苦手分野を確認でき、点数が悪いときは悔しい思いもした。達成感も悔しさもすべてを今後のモチベーション向上に繋げていこうと思う。

○ 学習面・精神面の両方で自分に足りていないものが明確に分かり、勉強に対する姿勢が変わったと思う。今後もこの気持ちを大切に、目標大学・目標学部合格に向けて頑張ろうと思っている。

○ 毎日行われる復習テストで、プレッシャーから点数が取れない時があった。本番の入試の予行演習だと考え、毎日のテストで自分のベストを尽くそうと決心して参加した夏合宿だったのでとても悔しかった。合宿では規則正しい生活をする中で勉強体力が向上したと感じたし、また自分の限界を知ることが出来たのは収穫だと感じている。

○ 【理解した】と【得点できる】は違うと痛感した合宿だった。講師から常にその違いを説明されていたがなかなか実感できていなかった。成績には多少なりとも自信があり参加した合宿だったが、まだ不足点があることが分かり基礎力の重要性を再認識させられた。横浜に戻っても【理解した】で満足せずに、得点力をつけていきたいと思う。

○ 入試問題を解いていく過程で手が止まった時に、今までは焦ってしまい余計分からなくなっていた。精神的に落ち着いてどのような糸口から問題に立ち向かっていくべきかを合宿を通して習得できた。この気持ちの切り替えを今後も大切にしていきたいと思う。

○ 最初は夏合宿に行くのが嫌だったが、合宿後半から、身体が1日中勉強することに慣れてきたと実感した。今後もこの姿勢を維持して、志望校に合格するよう頑張りたいと思う。1日10時間以上勉強するのは未経験であったが、自分もやれば出来ると自信になった。